



2023年3月期決算 決算説明資料

1. 2023年3月期 決算概要
2. 2024年3月期 業績予想
3. トピックス

連結	2022/3期		2023/3期		増減額	増減率
	(百万円)	売上比(%)	(百万円)	売上比(%)	(百万円)	(%)
売上高	83,734	100.0	88,000	100.0	4,265	5.1
売上総利益	22,189	26.5	22,463	25.5	273	1.2
営業利益	5,337	6.4	4,989	5.7	△ 347	△ 6.5
経常利益	13,193	15.8	12,900	14.7	△ 292	△ 2.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,489	12.5	10,853	12.3	364	3.5
設備投資額	2,704		4,068			
減価償却費	2,972		3,149			
研究開発費	1,853		1,825			

2023/3期のポイント

売上高：増収

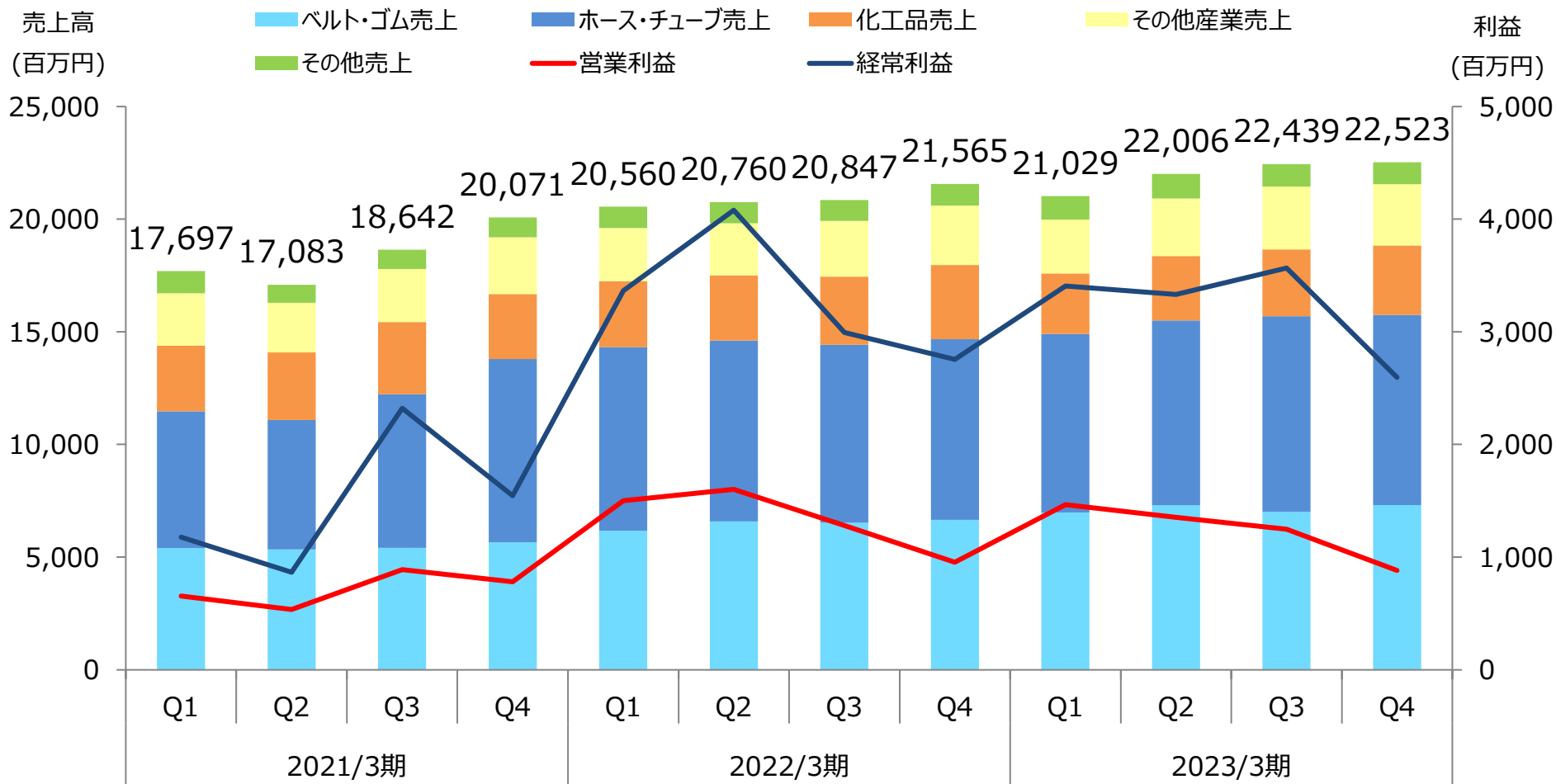
半導体業界向けや物流業界向けは年度後半にかけて減速、一方で自動車業界は回復傾向。

営業利益：減益

原材料価格及びエネルギー価格等の高騰、営業活動の正常化に伴う販管費の増加などが影響

経常利益：減益

- ・半導体業界向けが堅調、自動車業界向け低調により持分法投資利益が減少
- ・円安の影響で為替差益が増加



売上高	2022/3期 (百万円)	2023/3期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
ベルト・ゴム	25,915	28,600	2,684	10.4
ホース・チューブ	32,113	33,251	1,138	3.5
化工品	12,153	11,597	△ 556	△ 4.6
その他産業用製品	9,763	10,449	686	7.0
その他	3,788	4,101	313	8.3
合計	83,734	88,000	4,265	5.1

営業利益	2022/3期 (百万円)	2023/3期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
ベルト・ゴム	3,655	3,122	△ 532	△ 14.6
ホース・チューブ	1,526	935	△ 590	△ 38.7
化工品	△ 84	202	287	—
その他産業用製品	223	227	4	1.8
その他	1,798	2,067	268	14.9
全社/連結調整	△ 1,782	△ 1,566	216	—
合計	5,337	4,989	△ 347	△ 6.5

売上高(Q4累計)

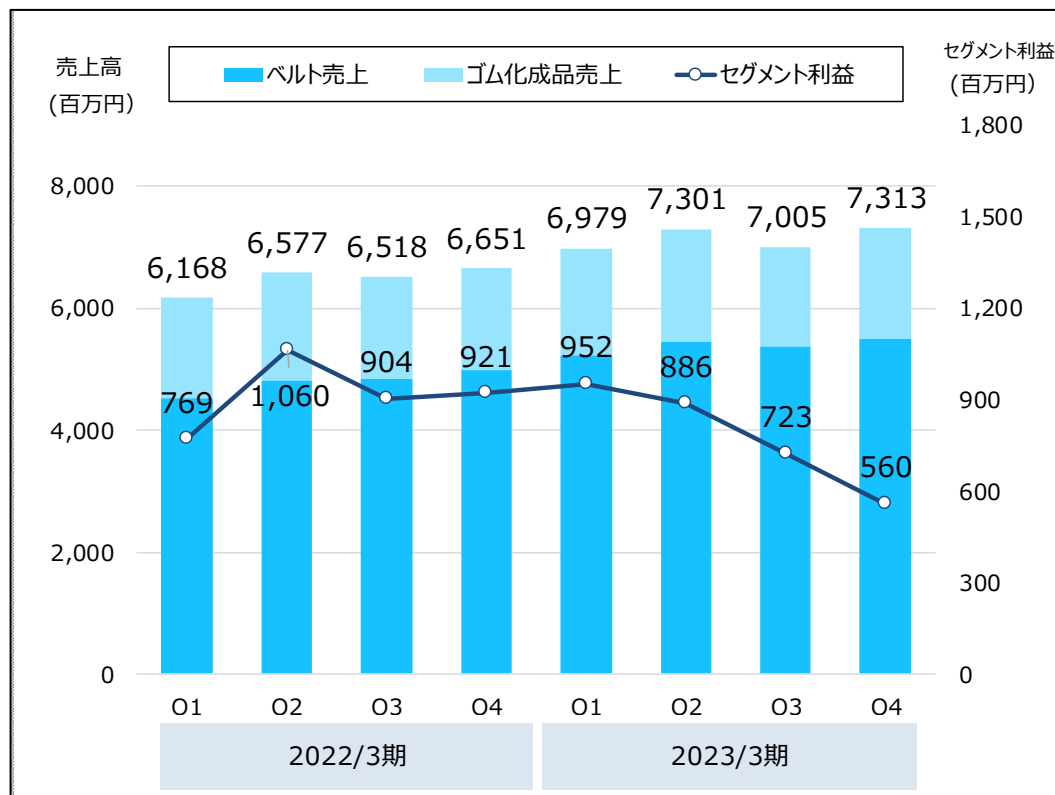
25,915 百万円 +10.4% 28,600 百万円

2022/3期 2023/3期

セグメント利益(Q4累計)

3,655 百万円 △14.6% 3,122 百万円

2022/3期 2023/3期



ベルト製品

- ・物流業界向けは年度前半堅調であったが、後半欧米市場で需要減速
- ・繊維・紙工業界向け堅調

ゴム化成品

- ・土木・橋梁業界向け堅調
- ・電子部品業界向け低調



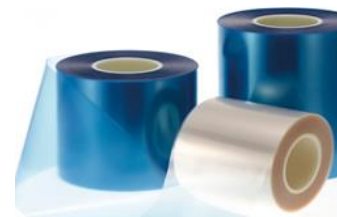
ベルト製品

- ・物流業界
- ・繊維業界
- ・紙工印刷業界
- ・半導体業界 等



ゴム化成品

- ・土木・橋梁業界
- ・工作機械 等



デバイス

- ・電子部品業界



売上高(Q4累計)

32,113 百万円
2022/3期

+3.5%

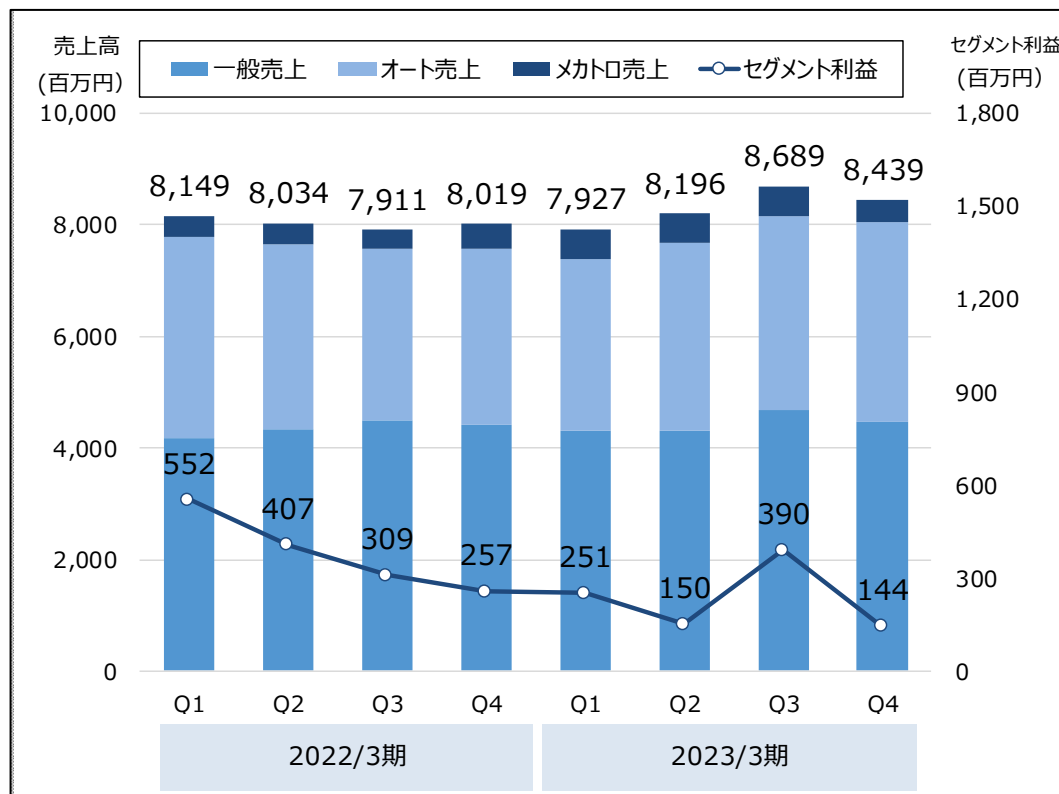
33,251 百万円
2023/3期

セグメント利益(Q4累計)

1,526 百万円
2022/3期

△38.7%

935 百万円
2023/3期



一般産業向け

- ・半導体製造装置向け堅調
- ・建設機械向け中国を除き堅調

オート向け

- ・国内はやや回復傾向

メカトロ製品

- ・中国のEV車製造ライン向けが堅調
- Q4は減速



**一般産業向け
ホース・チューブ**
・半導体製造装置
・建設機械
・工作機械 等



**オート向け
ホース・チューブ**
・自動車業界
・トラック・バス 等



メカトロ製品
・自動車業界

売上高(Q4累計)

12,153 百万円
2022/3期

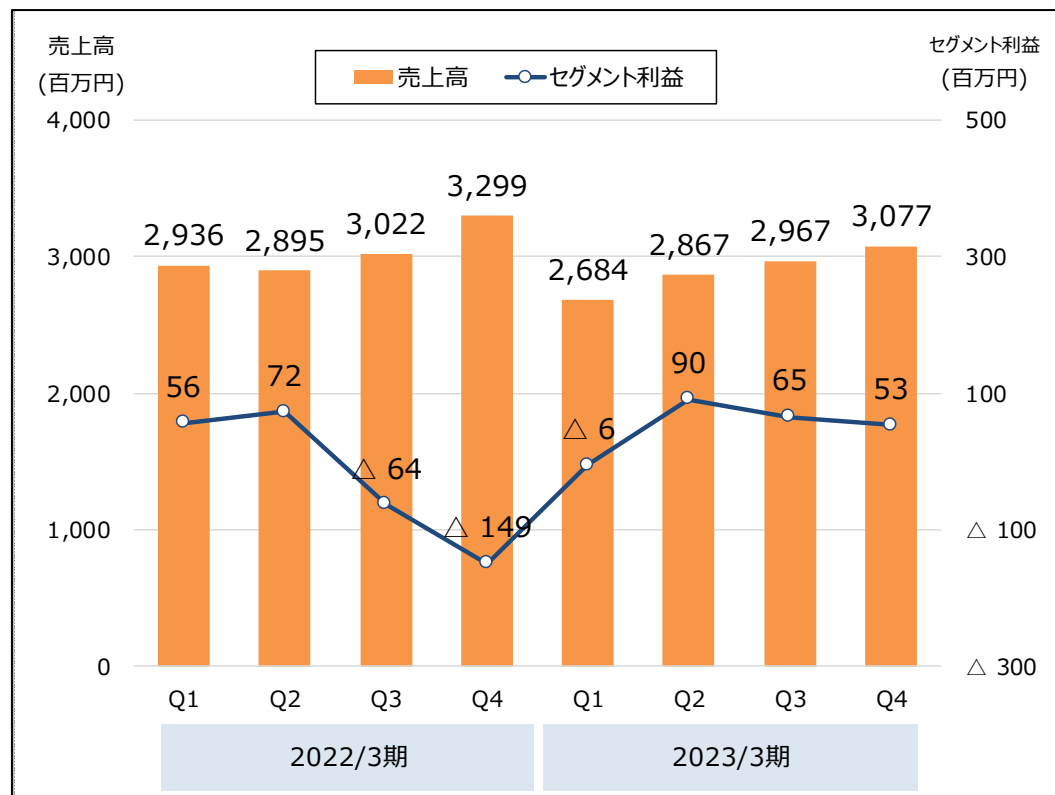
△4.6%

11,597 百万円
2023/3期

セグメント利益(Q4累計)

△84 百万円
2022/3期

+287 百万円

202 百万円
2023/3期

ゴム製品

- ・鉄道業界向け堅調

遮水製品

- ・土木業界向け低調

エラストマー製品

- ・中国ロックダウンからの挽回生産により
OA機器向け回復傾向



ゴム製品
(鉄道部品等)
・鉄道業界 等



遮水製品
・土木業界
・建設業界 等



エラストマー製品
・OA機器向け

売上高(Q4累計)

9,763 百万円
2022/3期

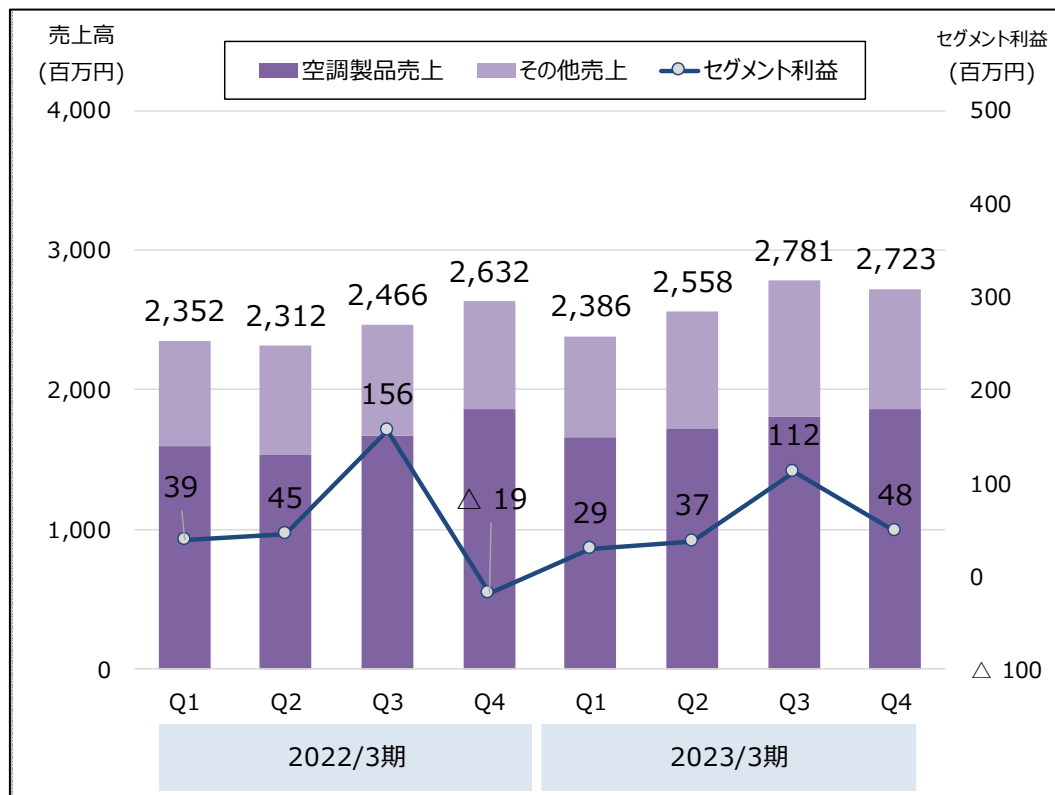
+7.0%

10,449 百万円
2023/3期

セグメント利益(Q4累計)

223 百万円
2022/3期

+1.8%

227 百万円
2023/3期

空調製品

- ・半導体・電子部品・製薬業界向け
- クリーンルーム用フィルタ及び測定器が堅調



空調製品 (フィルタ製品)

- ・半導体業界
- ・製薬業界
- ・病院 等



空調製品 (測定器)

- ・半導体業界
- ・電子部品業界
- ・製薬業界 等



その他 (血液循環回路)

- ・医療向け

売上高(Q4累計)

3,788 百万円
2022/3期

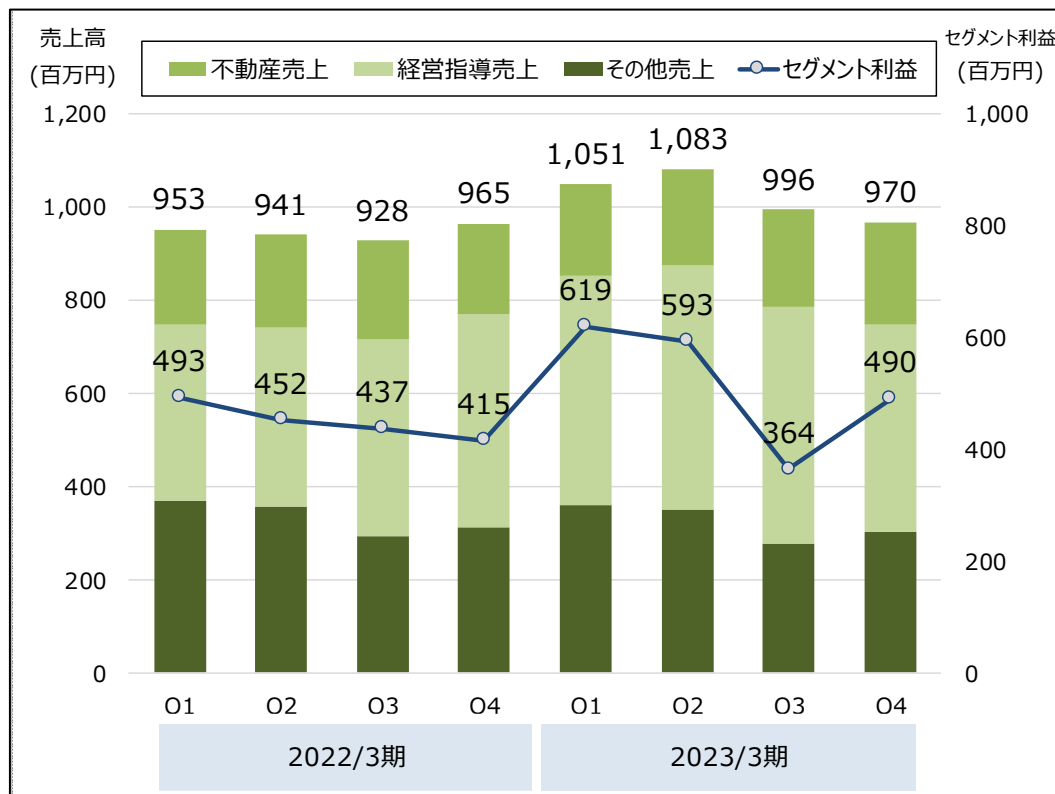
+8.3%

4,101 百万円
2023/3期

セグメント利益(Q4累計)

1,798 百万円
2022/3期

+14.9%

2,067 百万円
2023/3期


経営指導

・対象事業の業績堅調

不動産事業

Q3に修繕費・不動産取得税等の
一時的コストが発生
不動産事業
・賃貸管理

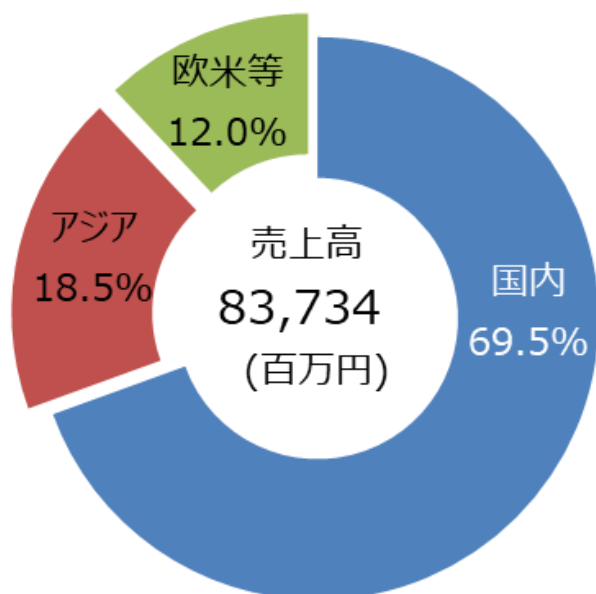
その他
(森林経営)

その他
(自動車教習事業)

売上高は海外が欧米を中心に好調。急激な円安の影響も加わり海外売上高比率が上昇

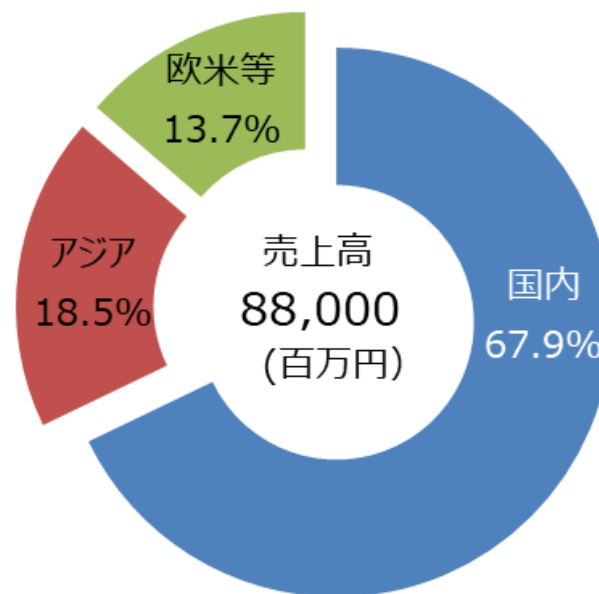
2022/3期

海外売上高比率 **30.5%**

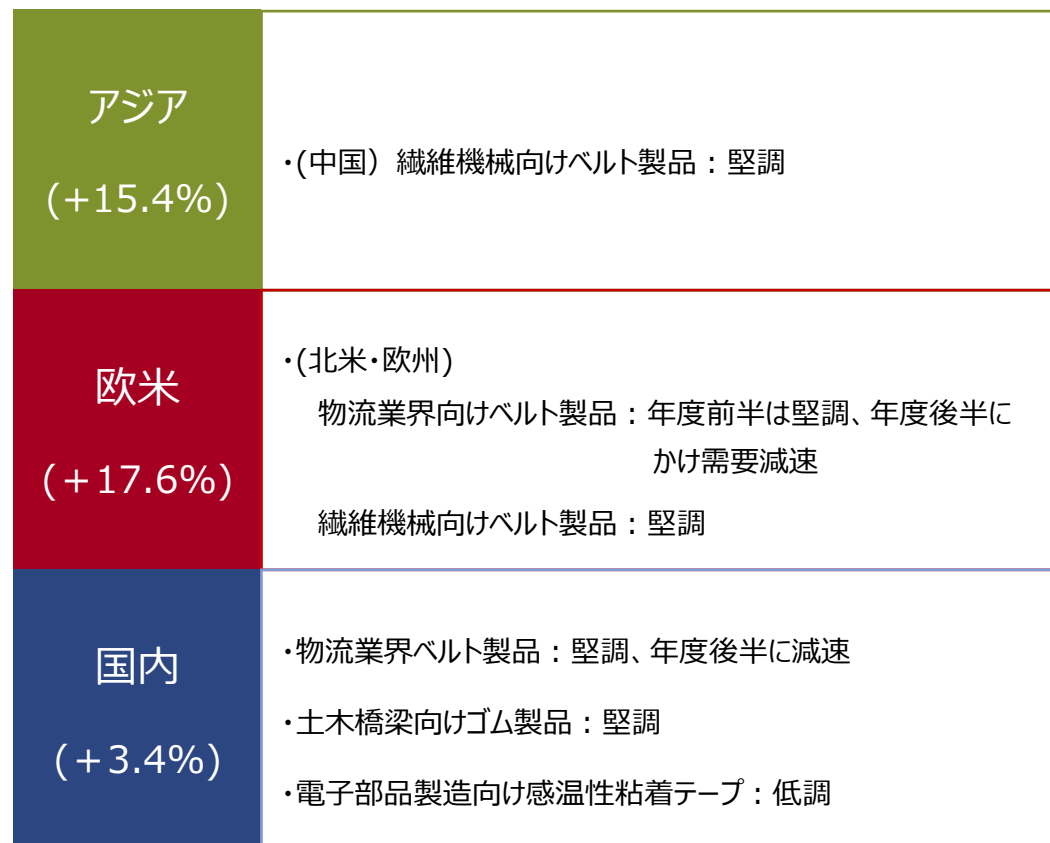
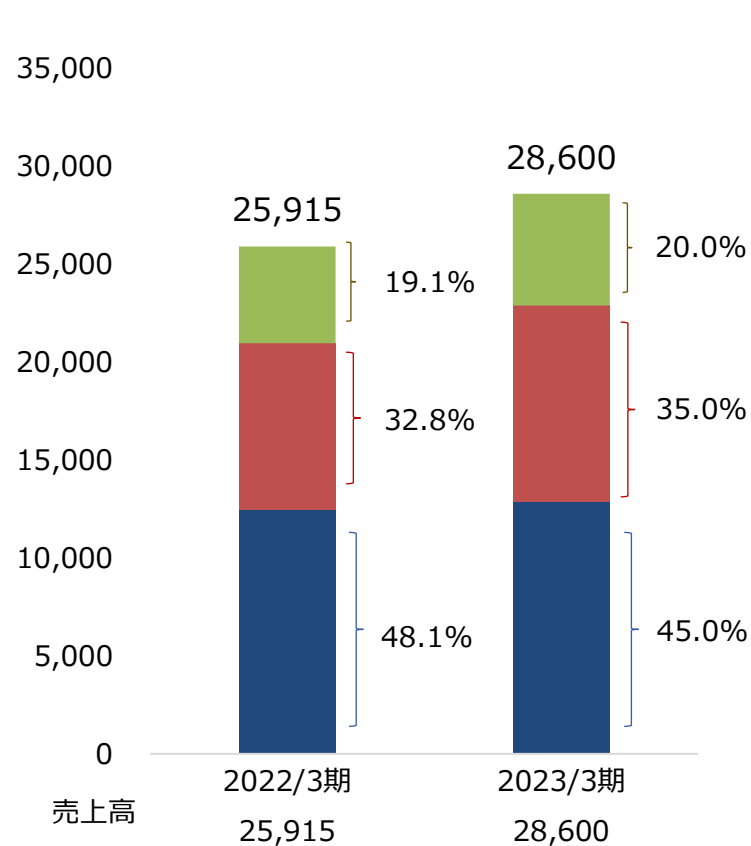


2023/3期

海外売上高比率 **32.1%**

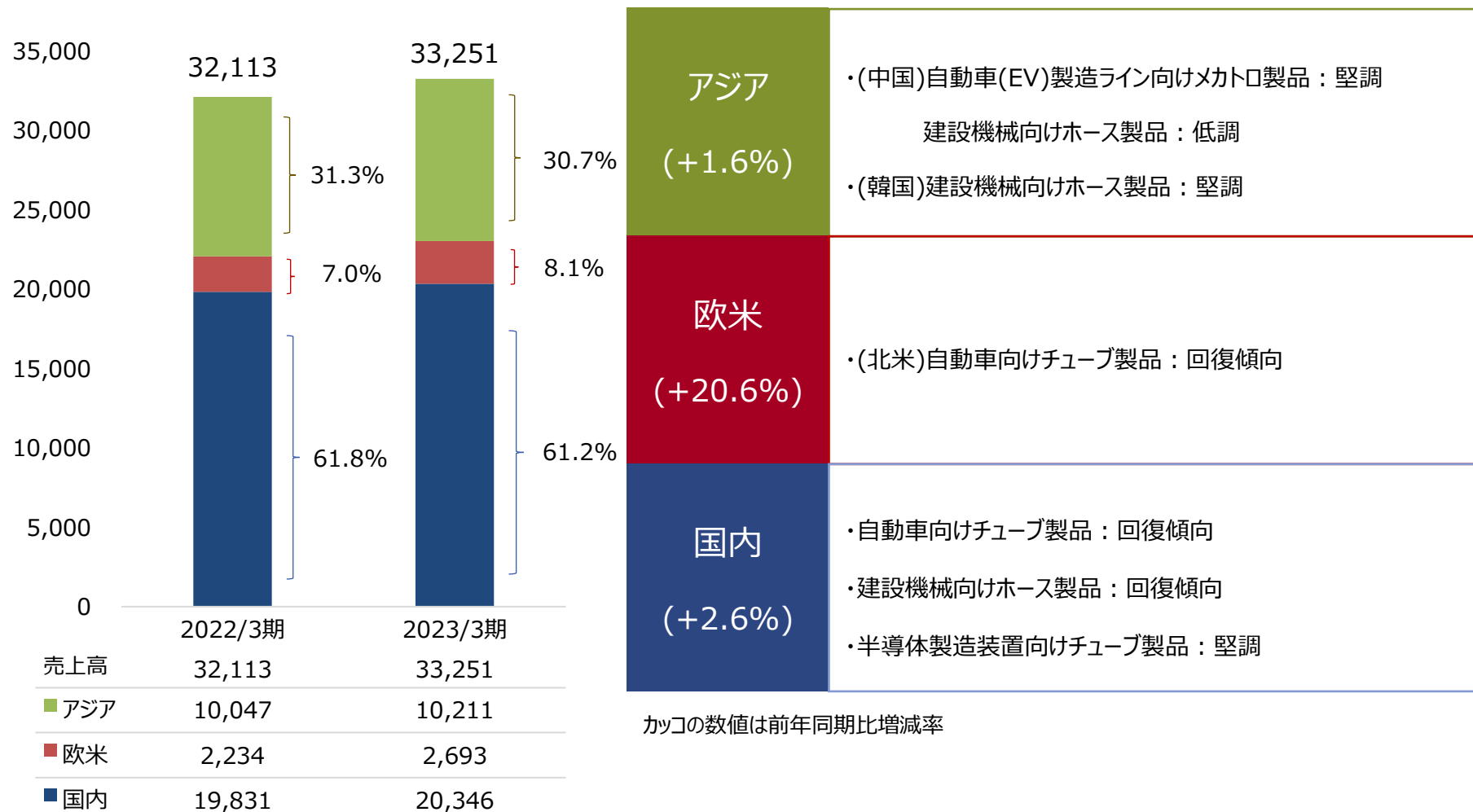


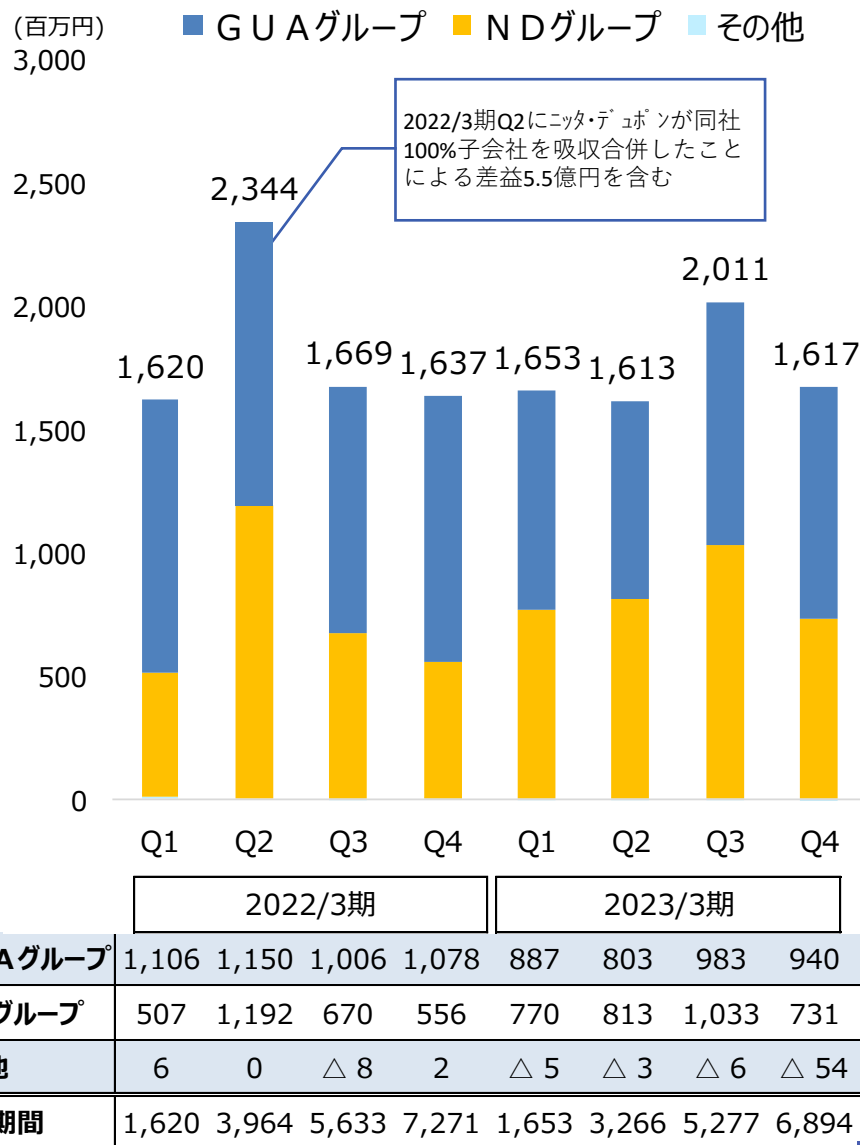
(百万円)



カッコの数値は前年同期比増減率

(百万円)





GUAグループ

一般産業向けタイミングベルト、プーリ
(半導体製造装置、ロボット、工作機械等)
自動車向けタイミングベルト、テンショナー

- ・自動車業界向けは半導体不足の影響を受け低調
- ・半導体業界を含む一般産業向けは堅調

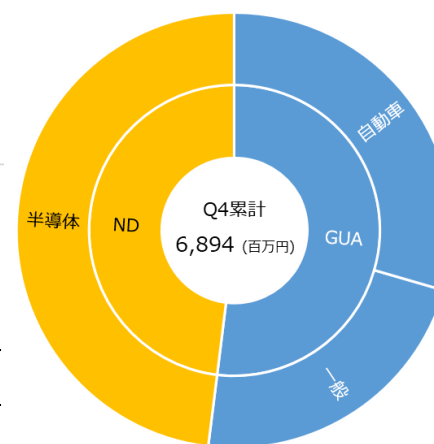


NDグループ

半導体業界向け研磨パッド、スラリー

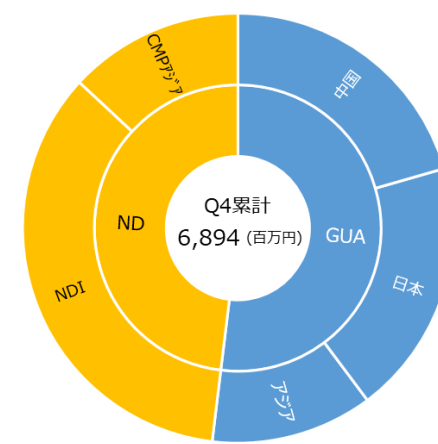
- ・旺盛な半導体業界の需要を受け、業績堅調を維持

業界別割合



※GUAの業界別割合は売上高をベースで持分法投資利益を分割しています。

地域別割合



※地域別割合は持分法適用会社の所在国等により区分した持分法投資利益の割合を表しています。

1. 2023年3月期 決算概要

2. 2024年3月期 業績予想

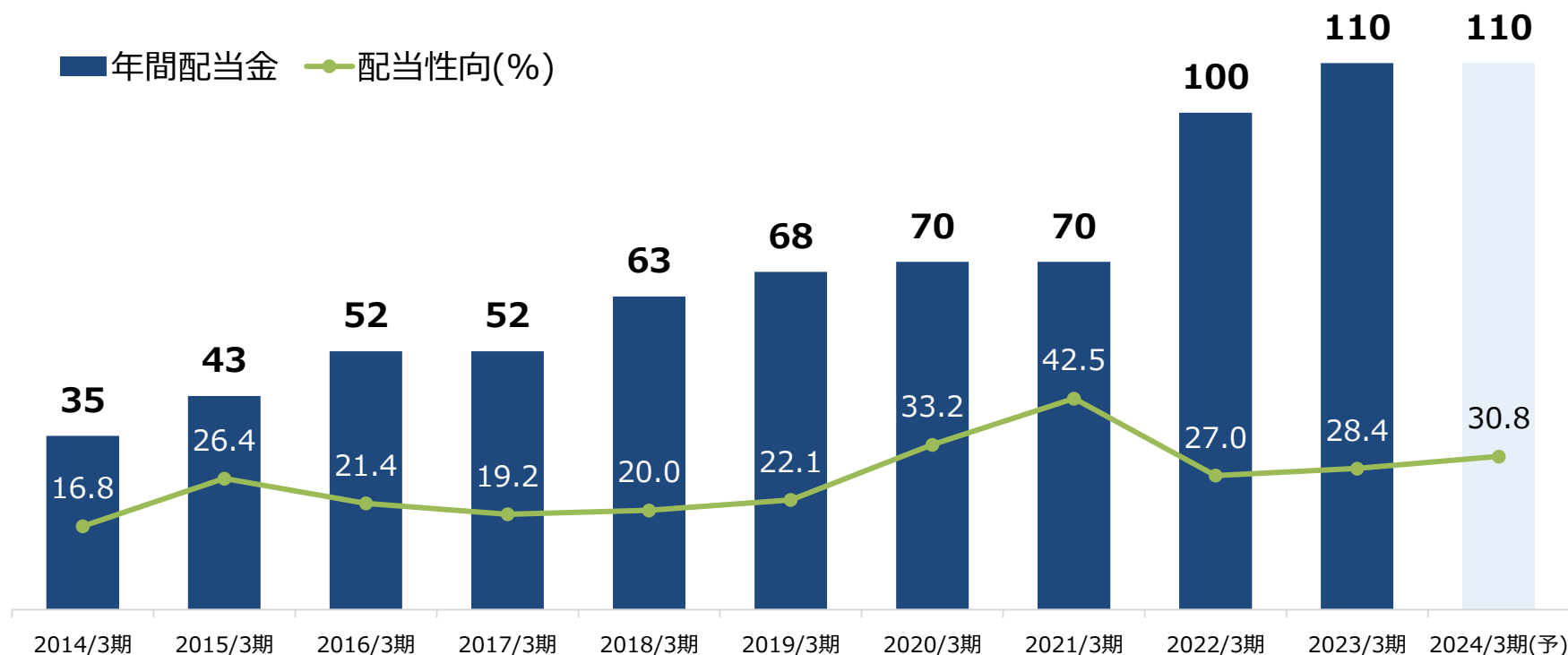
3. トピックス

連結	2023/3期実績(百万円)			2024/3期予想(百万円)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想		
売上高	43,036	44,963	88,000	43,000	46,000	89,000	1,000	1.1
営業利益	2,860	2,129	4,989	2,400	2,600	5,000	11	0.2
経常利益	6,739	6,161	12,900	5,900	6,100	12,000	△ 900	△ 7.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,370	5,482	10,853	4,900	5,100	10,000	△ 853	△ 7.9
設備投資額		4,068			5,000			
減価償却費		3,149			3,200			
研究開発費		1,825			2,000			

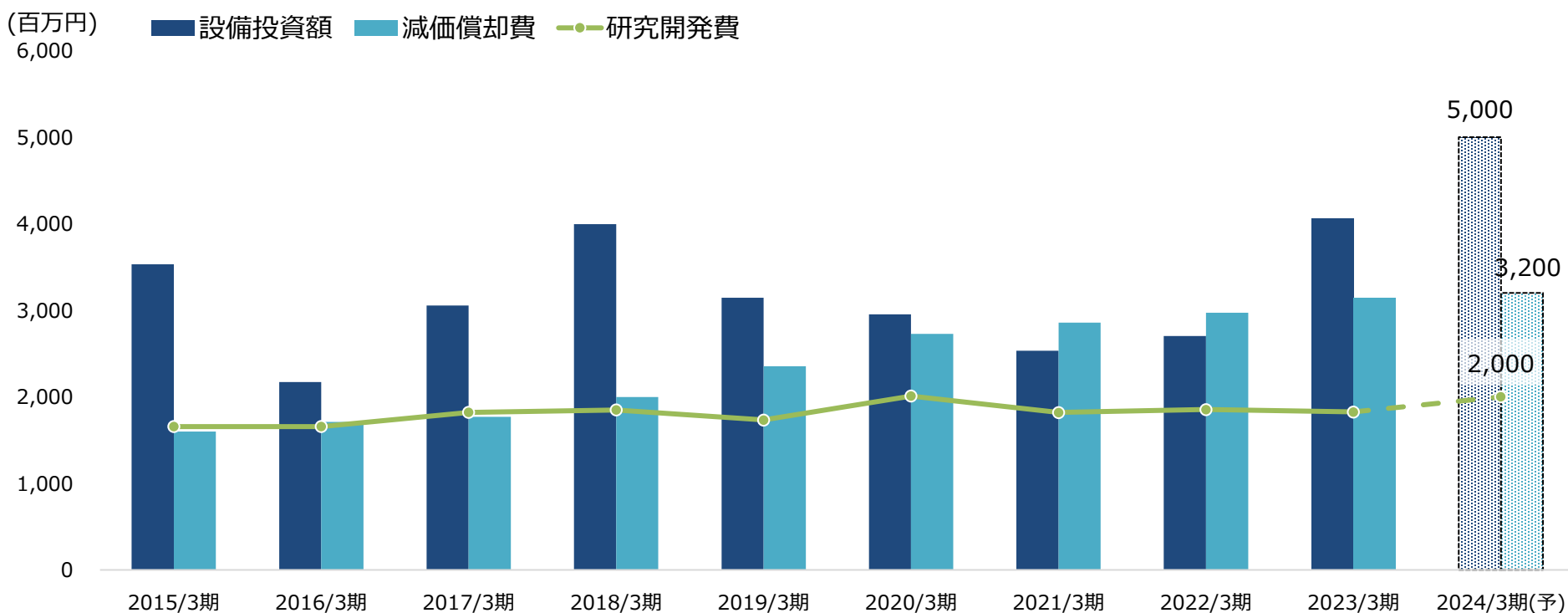
- 中長期経営計画「SHIFT2030」のPhase 1（2022/3～2025/3）の期間は、連結配当性向30%を目安に、安定的且つ着実な配当を継続的に実施

2023/3期 ： 前期比10円増配。年間配当金110円

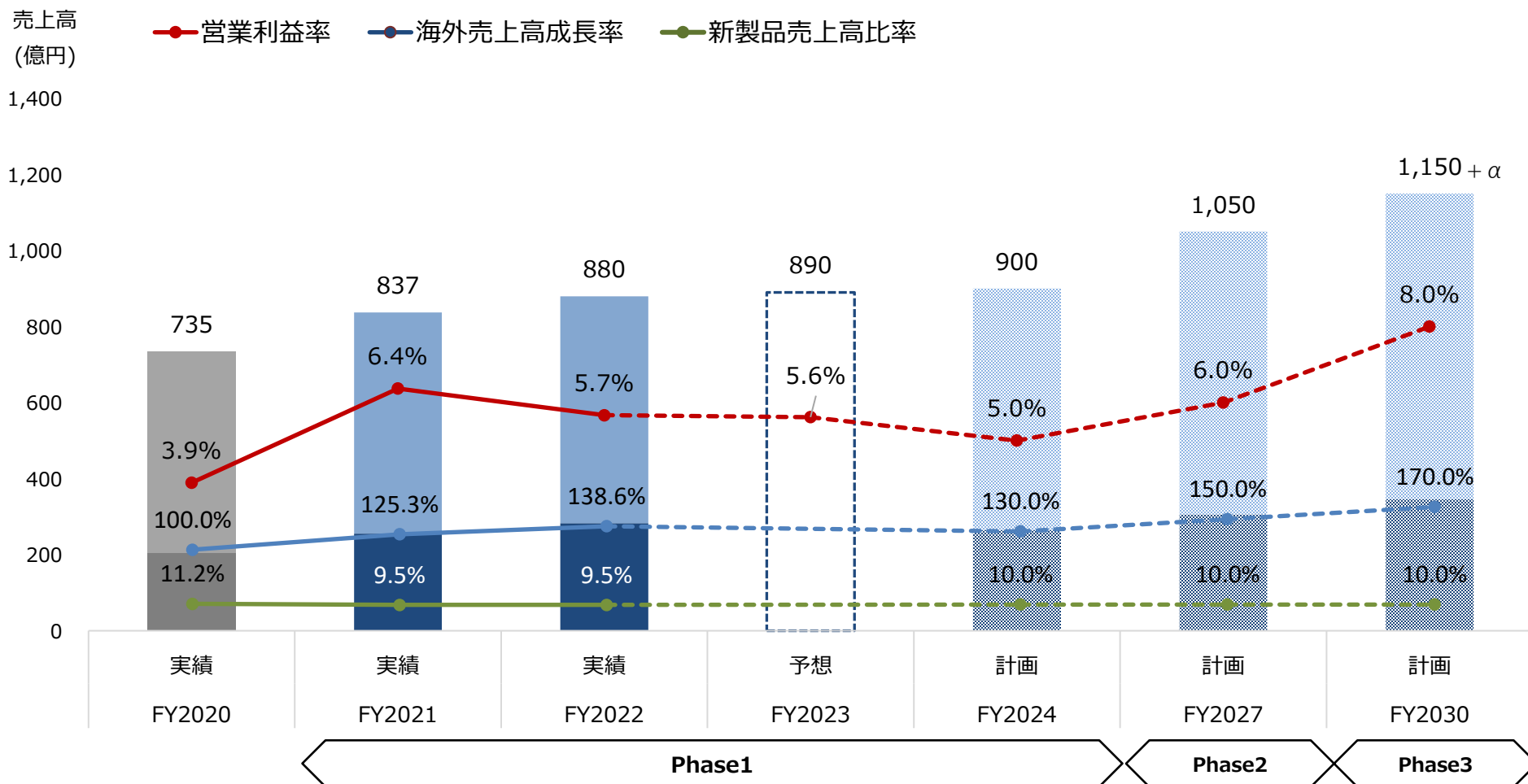
2024/3期（見込） ： 年間配当金110円（中間55円、期末55円）



2024/3期は、基幹システム更新、Namd糸製造設備導入、京都工場の倉庫新設等を予定



2022年度の営業利益率と海外売上高成長率は、2024年度の計画値を上回って進捗。



1. 2023年3月期 決算概要

2. 2024年3月期 業績予想

3. トピックス

①成長へのSHIFT

SHIFT for Growth

- ・既存事業の持続的成長
- ・新事業の探索
- ・新製品開発の加速

②企業価値向上へのSHIFT

SHIFT for Corporate Value Enhancement

- ・品質及びトータルコスト競争力の向上
- ・コーポレートガバナンス、コンプライアンスの強化
- ・ESG推進とSDGsのGoal達成

③更なるグローバル化へのSHIFT

SHIFT for Further Globalization

- ・各事業の更なるグローバル展開
- ・コーポレート部門によるグローバルサポート強化

Namd™事業の本格化に向けた工場 本年6月稼働

当社主力工場である奈良工場内に「第8工場棟」が完成しました。本工場棟は、当社独自のCNT複合化技術 Namd™(ニアムド™)事業の本格化に向けた生産能力の増強を目的に建設したものです。本年6月の稼働を予定しており、Namd糸の生産能力を増強することで、お客様のニーズにタイムリーにお応えする体制を整備し、同事業の拡大を図って参ります。



第8工場棟



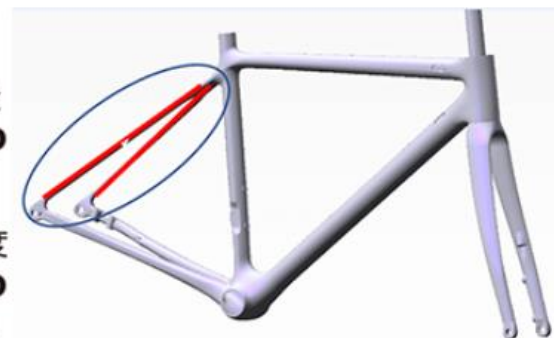
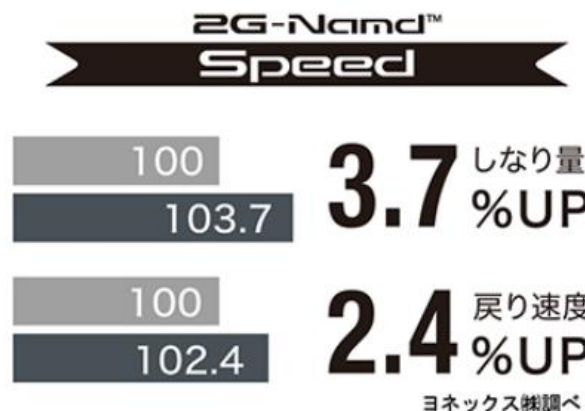
2 G-Namd

Namd™事業の本格化により、更なる成長へSHIFTしていきます。

2 G-Namd™ ロードバイクフレームへ採用

当社独自のCNT複合化技術「2G-Namd™」が、ヨネックス(株)様のロードバイク「CARBONEX SLD(カーボネックスSLD)」に搭載されました。同技術により同社史上最軽量かつ高い加速性・安定性の実現に寄与することができました。「2G-Namd™」は強靱なしなりと反発性能が特長です。

ヨネックス(株)様からは、「静止時は通常カーボンと同等の剛性を維持しつつ、走行時はしなり量が増加し、しなり戻り速度もアップ。」と高いご評価を頂いております。

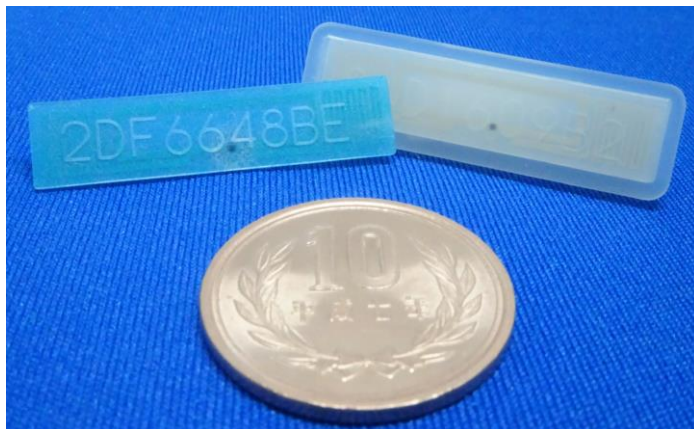


2022年11月25日 ヨネックス株式会社リリース文より

2G-Namd™が持つしなりと反発性能は、多くの企業にご関心を頂いています。今後もこの特長を活かし、更に様々な事業分野における課題解決のためにご利用頂けるよう提案活動を進めて参ります。

RFIDタグ リネン業界の省力化に貢献

リネン業界のお客様のご要望にお応えした、RFIDタグ「ロジフレックスLTシリーズ」を発売開始します。このタグは強力な洗剤に耐えうる耐薬品性と高い耐熱耐圧性を備えているため、強い汚れが付く製品にも取りつけたまま繰り返し洗浄することが可能です。入出荷の記録や紛失防止など同業界においてニーズのある管理業務の省力化に貢献して参ります。



※写真は試作品につき、実際に販売するものと外観・仕様が異なる場合があります。

1

耐薬品性

強アルカリや強酸の洗剤にも対応

2

耐熱耐圧性

洗浄や乾燥時の高温、高圧に耐えうる

3

自社特許技術

(特許第6976865号)

金属探知機に反応しないため検査に適応

将来の人出不足や働き方改革など業界のサステナビリティ課題の解決に貢献します。

再生医療分野での新しいビジネス創出に向けた共同開発

当社とファーマバイオ株式会社は、眼科疾患の移植治療用細胞シート*の製造機器・消費資材類の共同開発を行うことで合意しました。両社は共同でこれらの開発を進め、社会課題解決に貢献する再生医療分野での新しいビジネスの創出を目指して参ります。

*眼科疾患の移植治療用細胞シートとは、ファーマバイオ社が開発した再生医療製品の1つです。再生医療製品は、生きた細胞や遺伝子を用いて治療が困難だった疾患の治療を可能にする製品です。



バイオテクノロジー

SHIFT2030で掲げた再生医療分野の新規事業創出を目指します。

健康経営銘柄に当社が初めて選定

経済産業省と東京証券取引所が共同で、従業員の健康管理を、経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を選定する「健康経営銘柄」に本年3月当社が選定されました。健康経営銘柄には毎年1業種につき原則1企業が選定されており、当社は初の選定となります。

また、「健康経営優良法人(ホワイト500)」は、5年連続の認定となりました。



2023年3月9日 健康経営アワード2023にて

当社は健康経営の推進を通じて、従業員の健康増進・維持をはかり、従業員の活力向上や生産性向上に繋げていくことで、中長期的な業績拡大及び企業価値の向上を実現して参ります。

名張工場 オンサイトPPA太陽光発電システム導入

名張工場(三重県名張市)において、太陽光発電オンサイトサービス(PPAモデル※)による太陽光発電設備を導入いたしました。二酸化炭素(CO2)削減効果は同工場の排出量の約4%にあたる約122トン/年を見込んでおり、2023年1月下旬より稼働しております。

※PPA(Power Purchase Agreement)モデル：PPA事業者が、電力需要家の土地や屋根などを借り受け、太陽光発電設備を設置し、そこで発電された電力を当該電力需要家に販売する事業モデル



太陽光発電設置概要

・設置場所	名張工場の屋上
・太陽光パネル設置面積	1,676m ²
・太陽光パネル容量	349.6kW
・年間発電量	325,319kWh
・CO2削減効果	約122トン/年

今後も温室効果ガス排出抑制に積極的に取り組み、脱炭素社会の実現に取り組んで参ります。



THANK YOU

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<IR問合せ先：経営管理グループ 06-6563-1217>